

研究課題名

糖尿病透析患者における血液検査データの季節性変動に関する検討

研究責任者の氏名

矢島 隆宏

研究の概要

血液透析患者は、高カリウム血症による不整脈、高リン血症による二次性副甲状腺機能亢進症などを呈し生命予後が著しく悪化します。一般的に夏に食欲が低下し、年末に食事制限が困難となり、上記の異常が生じやすくなることが予想されますが、多数例での報告はなく客観的に示された報告はありません。

2005年1月1日から2015年12月31日までの間に当院にて外来維持透析中の患者さんを対象とし、定期検査として月に2回施行されている血液検査データ(血算、生化学、ホルモン他)の平均値をもとに、四季に3か月ごとに分けて各検査項目に関して季節性変動を検討します。

本研究においては、該当する患者に関わる情報は匿名化した上で統計解析します。電子データは5年間保存の後に消去します。

研究の成果に関しては、学会発表や論文投稿する予定です。

利用する情報の項目

カルテ情報 (腹部単純CT)

利用するものの範囲

医師：矢島 隆宏

連絡先

松波総合病院 腎臓内科

矢島 隆宏

TEL: 058-388-0111(代)

FAX: 058-388-2391